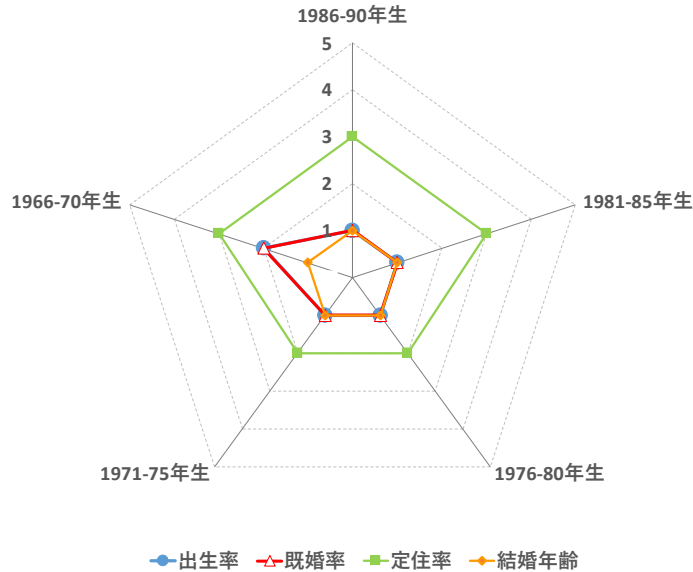


(7) 加茂市

① 出生に関する総合評価

図7-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

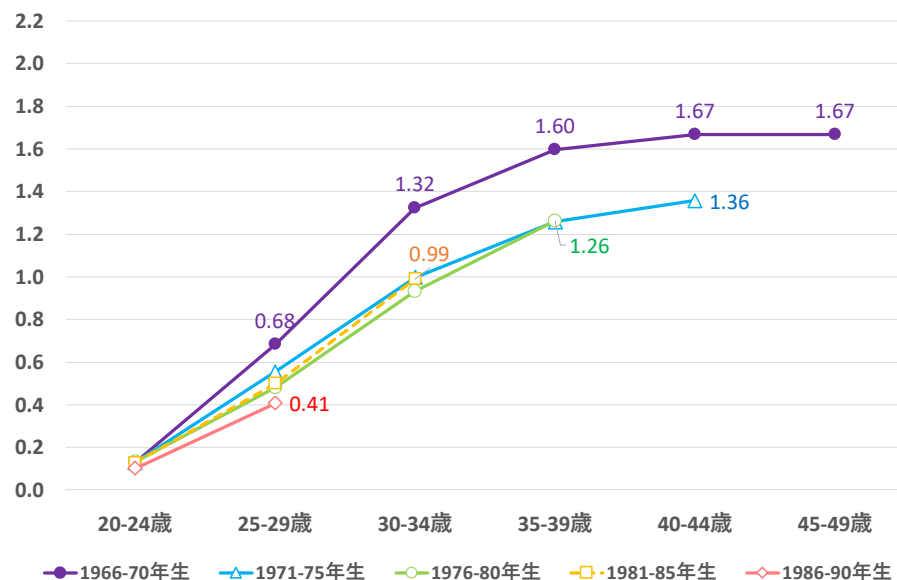
1. 合計出生率は、1966-70年生まれは下位であるが、1971-75年生まれから1986-90年生まれまでは最下位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれは下位であるが、1971-75年生まれから1986-90年生まれまでは最下位である。
3. 女性定住率は、1966-70年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは中位であるが、1971-75年生まれと1976-80年生まれは下位である。
4. 女性結婚年齢は、すべてのコホートで最下位である。

【総合評価】

1. 加茂市は、女性定住率が中位程度であることを除いて、すべての変数が下位以下である。合計出生率は全コホートで低迷し、県内最下位グループに属している。合計出生率は1970年代生まれで大きく低下したが、1980年代後半生まれではさらに低下している。これは既婚率が同様の動きをしているためである。
2. 25-34歳の出生率は、1970年前半生まれから0.9人を下回っており、それは、25-29歳の出生率が顕著に低下していることが要因である。今後1人以上を回復できるかは、1980年代生まれの世代が30歳代でどの程度キャッチアップできるかに依存する。
3. 晩婚化・晩産化に合わせてターゲットを絞った効果の高い施策展開が求められる。そのためには、1970年代生まれ以降のコホートの結婚・出生行動が変化した要因を早急に分析する必要がある。

②コホート合計出生率

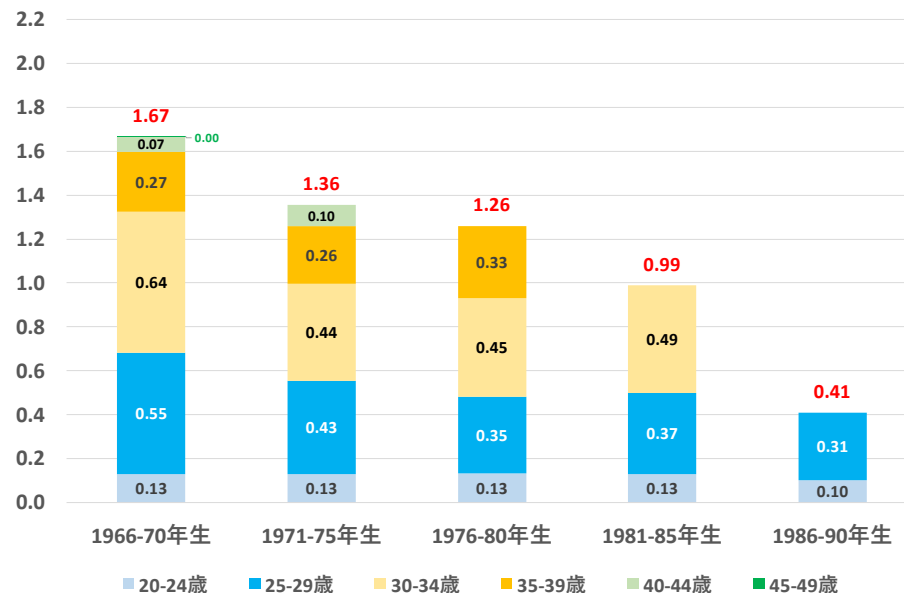
図 7-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 7-2 は、加茂市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村よりも、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ さらに 1971-75 年生まれ以降のコホートでも低下してコホート間の差が拡大している。特に、1986-90 年生まれでは、それ以前のコホートよりも出生数が低下しており、0.5 人が生まれていない。
- ・ 加茂市は県内で最も合計特殊出生率の低い自治体の一つであるが、特に 1970 年生まれ以降の低出生数が影響している。

図 7-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

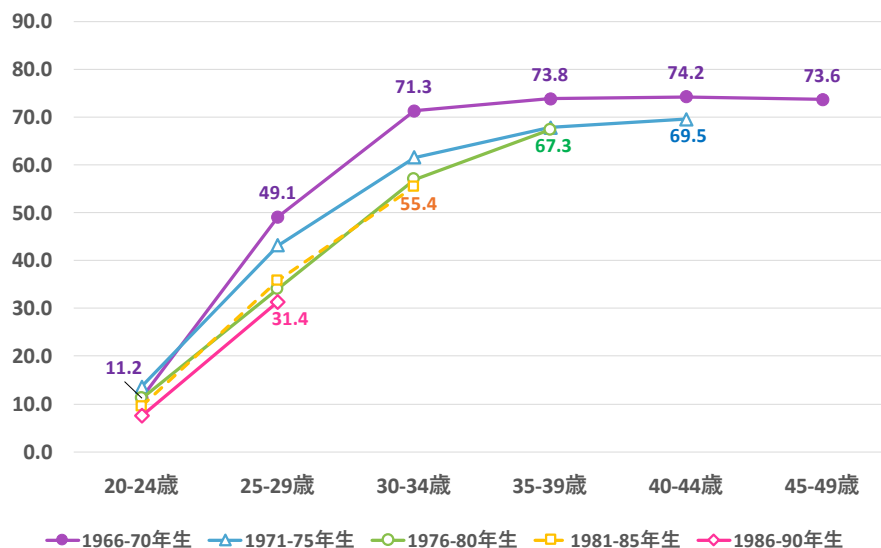


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 7-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.68 人に対して、1986-90 年生まれは 0.41 人に大きく減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.91 人に対して、1976-80 年生まれは 0.78 人に減少している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1971-75 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.86 人に減少した。

③コホート別既婚率

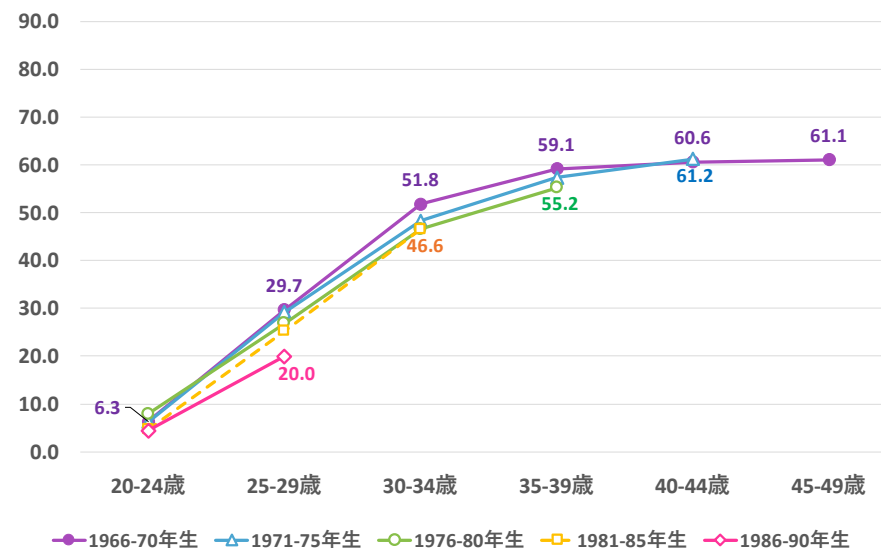
図 7-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 7-4 は、コホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点で低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 49.1%から 1986-90 年生まれは 31.4%に 17.7 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 73.8%から 1976-80 年生まれは 67.3%へと 6.5 ポイント低下している。

図 7-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

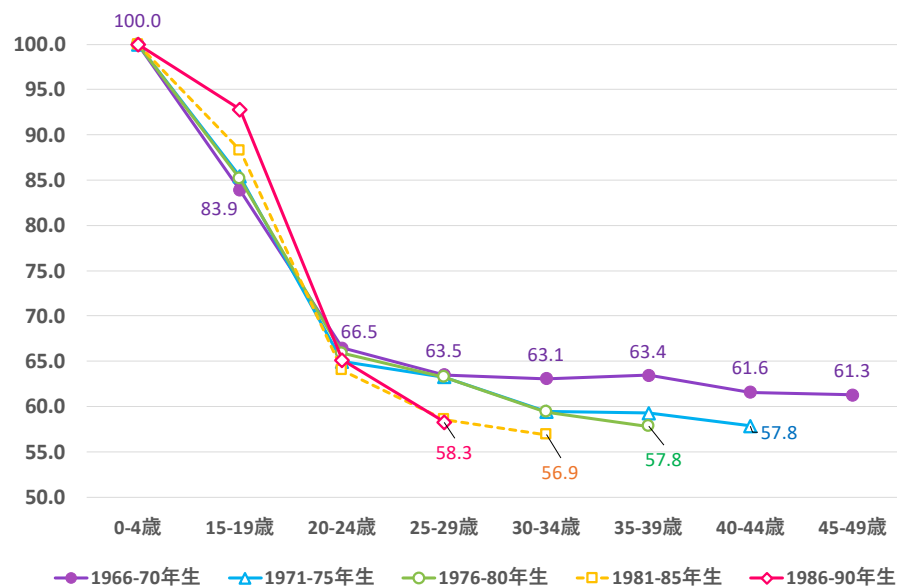


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 7-5 は、コホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 29.7%から 1986-90 年生まれは 20.0%に 9.7 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 59.1%から 1976-80 年生まれは 55.2%に 3.9 ポイント低下している。
- ・ 1986-90 年生まれの 25-29 歳の既婚率が他市町村と比較して特に低い。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%前後に達するが、男性は 60%台前半に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 7-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

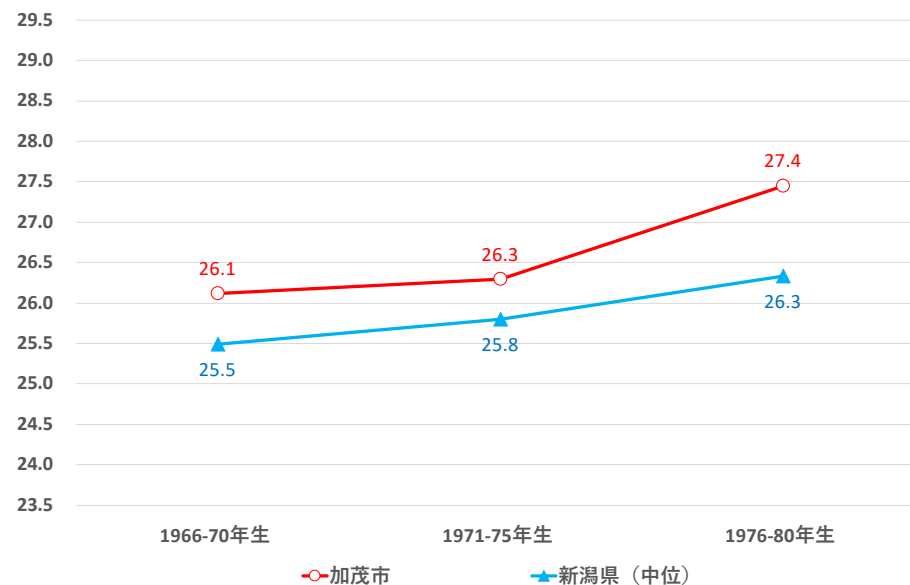


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 7-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの63.5から1986-90年生まれは58.3に5.2ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの63.4から1976-80年生まれは57.8に5.6ポイント減少している。
- ・ 加茂市では、25-29歳時でみると、1966-70年生まれの定住率は0-4歳時点の60%台前半であったが、1970年代生まれ以降は50%台後半に低下し、1980年代生まれは50%台後半に低下した。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 7-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

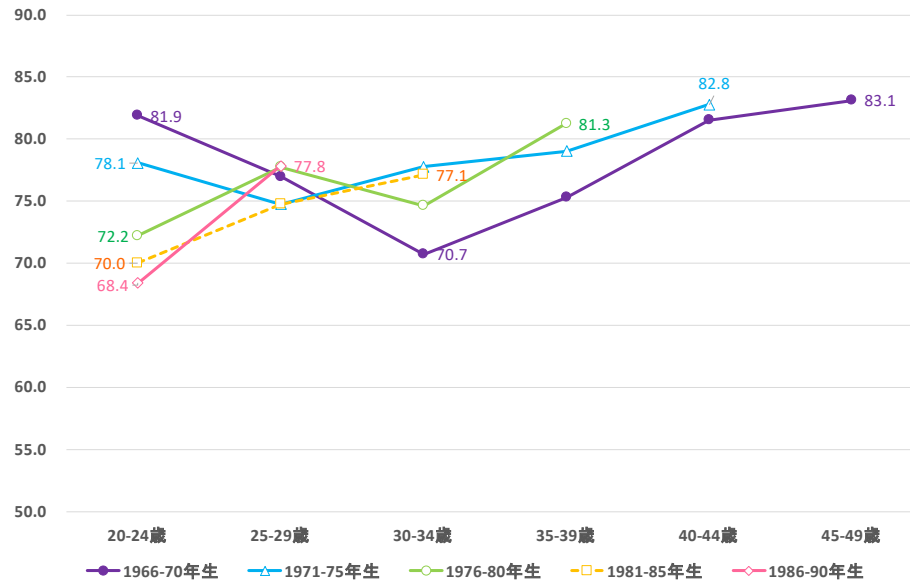


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 7-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ26.1歳、26.3歳、27.4歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは1.3歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は29位、1971-75年生の県内順位は25位、1976-80年生は28位と平均結婚年齢が県内で最も遅い自治体の一つである。

⑥コホート別女性就業率

図 7-8 コホート別女性就業率 単位：%

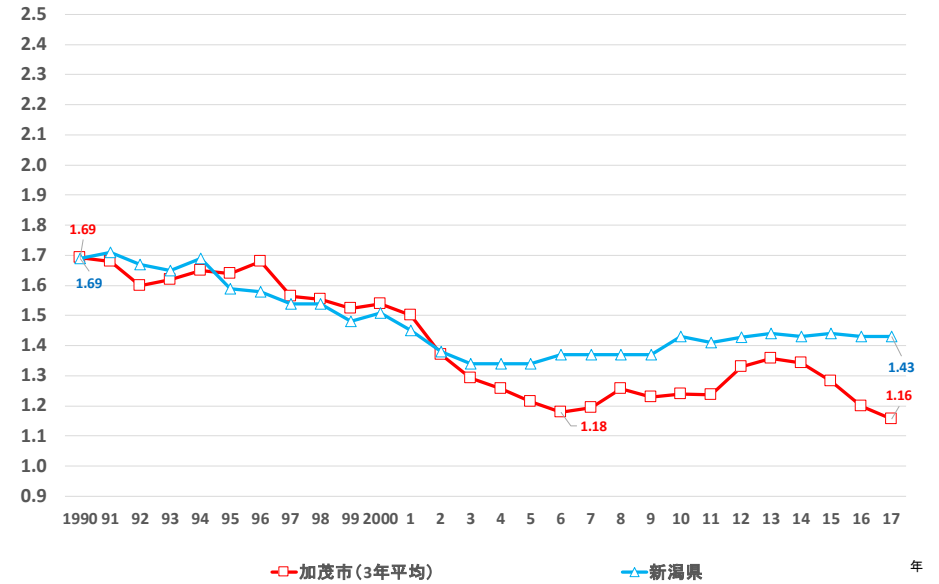


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 7-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれのコホートは低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 70.7%であったのに対して、1981-85 年生まれは 77.1%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは（1976-80 年生まれを除き）M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれでは 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 7-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 7-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と加茂市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降、加茂市の期間合計特殊出生率は、1995-2001 年を除き、新潟県平均より低い値で推移し、期間平均は 0.07 ポイント低い。
- ・ 加茂市の期間合計特殊出生率は、1990 年の 1.69 から低下してきたが、2006 年の 1.18 を底に 2013 年には 1.36 まで改善したが、2017 年には県平均を大きく下回る 1.16 に低下している。